

平成22年度 事務事業評価シート（平成21年度実績分）

事務事業名	排水機新設改良事業		部課コード	1612	予算事業科目	010803030179	事	複	区分	継続	
所管部署	担当部局	都市建設部	部局長名(2次評価者)	海治 甲太郎		個別事務	全部	010803030179	-		
	担当部署	河川水路課	所属長名(1次評価者)	伊野部 博志			全部	010803030194	-		
	電話番号	088-823-9475	E-mail	kc-161200@city.kochi.lg.jp					-		

1 事業の位置付け

予算科目(平成21年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け				
会計	01 一般会計	目標	03 C環境と共生する安全で快適な都市	政策基本方針	災害に強いまちづくりを進めるため、自然の循環作用にも配慮しながら、都市防災構造化を推進するとともに、市民と行政とが一体となった防災対策、応急活動を行う自主防災組織の育成・強化、災害に強い人材育成などに取り組みます。
款	08 土木費	政策	01 災害に強いまちづくり		
項	03 河川費	施策	01 災害に強い基盤整備		
目	03 河川改良費	区分	05 河川水路等整備事業		

2 事業の根拠

法律・政令・省令	地方自治法	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等		
その他(計画、覚書等)	2001高知市総合計画 第3次実施計画(平成20~22年度)、公共下水道及び都市下水路事業計画	

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	高知市民(市街化区域内)		
意図	どのような状態にしていくのか	豪雨時における内水排除に万全の体制を整え、浸水解消を目指す。		
手段	事業実施体制等	請負工事	事業開始年度	平成11年度
			事業終了年度	-
活動内容	どのような事業活動を行うのか	42排水機場の施設機能が十分発揮できるよう定期的な点検を行い維持修繕を実施する。また、耐用年数を経過している施設については設備改修及び更新等を計画的に実施し、排水能力の維持を図る。		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	予算執行状況の割合	現年予算及と前年度繰越額の合計額に対する決算額の割合	
	B			
	C			

4 事業の実績等

			19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	予算執行状況の割合	目標 100%	100%	100%	100%		
			実績 99%	66%	72%			
	B	目標						
		実績						
	C	目標						
		実績						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	79,600	59,360	143,138	62,861	19年度予算(81,000) 20年度予算(90,000) 21年度予算(171,000)	
		財源内訳	国費 (千円)			37,138		
			県費 (千円)					
			市債 (千円)	74,400	59,300	76,000		26,500
			その他 (千円)			30,000		36,361
			一般財源 (千円)	5,200	60	0		0
	翌年度への繰越額 (千円)	0	30,000	57,861				
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	15,675	13,275	24,450	18,525		
		正規職員 (千円)	15,675	13,275	24,450	18,525		
		その他 (千円)						
		人役数 (人)	2.09	1.77	3.26	2.47		
		正規職員 (人)	2.09	1.77	3.26	2.47		
		その他 (人)						
総コスト=①+② (千円)		95,275	72,635	167,588	81,386			
市民1人当たりコスト (円)	279	213	493		総コスト/年度末人口			
年度末住民基本台帳人数 (人)	341,544	340,695	339,714					

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

--

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 27 日）

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① 〔施策体系等での位置付け〕 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	5.0	本事業は、「安全・安心のまちづくり」のため、災害に強い都市基盤の整備を目的としており、市総合計画（第3次実施計画）に掲げる「災害に強いまちづくり」の趣旨に合致している。  また、都市化の進行に伴い土地利用が高度化されたこと、近年の気象変動による局地的なゲリラ豪雨等により、各地で浸水が頻繁に発生していることから、市民の浸水不安解消に向け、今後も、事業推進が求められている。
	② 〔市民ニーズの傾向〕 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	A		
事業内容の有効性	③ 〔成果の達成状況〕 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	B	4.0	成果の達成状況は、概ね順調である。  事業成果向上のため、他課とも調整を行い効率的に事業推進を図っている。
	④ 〔事業の手法・活動内容〕 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	A		
事業実施の効率性	⑤ 〔アウトソーシングの可能性〕 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	5.0	技術者育成の面からも、可能な限り市職員での実施を検討していく。  公共下水道事業との整合性を図りながら、効率的な整備を検討していく。
	⑥ 〔事業統合・連携・コスト削減〕 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	A		
事業実施の公平性	⑦ 〔受益者の偏り〕 事業の受益者が特定の個人（団体）等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	B	4.0	本事業は、浸水地区を対象に行っているものであり、これまでに、各浸水地区の河川及び排水機場を、改修整備している。  本事業は、起債（自然災害）にて実施しており、受益者負担の視点には馴染まない。
	⑧ 〔受益者負担の適正化〕 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合点	18.0	総合評価	○ A 事業継続（総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合） B 経費削減に努め事業継続（総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合） C 事業縮小・再構築の検討（総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合） D 事業廃止・凍結の検討（総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合）		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 29 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	1次評価のとおり
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--